

The 9th IEEE International Workshop on Advanced Motion Control March 27-29, 2006, Hilton Hotel, Istanbul, Turkey

3月27日から29日にかけて、トルコのイスタンブールにてIEEE Industrial Electronics Society主催の先端モーションコントロールに関するワークショップ（通称AMC）が開催された。AMCは隔年で開催されるワークショップで、今年で9回目となる。General Co-ChairはA. Sabanovic教授（Sabanchi大学）と大西公平教授（慶應義塾大学）が務められた。

会議録には採択された合計134件の論文が収められた。採択率は81%であった。投稿論文の国別内訳を図1に示す。日本からの投稿が最も多く、全体の3割に達する。この分野における日本勢のアクティビティの高さがうかがえる。また、採択された論文の分野別内訳を表1に示す。注目すべきは医療への応用を扱った研究が増えていることである。また、社会との関わりを扱ったロボット研究も興味深い。

初日の基調講演では、原島文雄教授の代理で鈴木聡博士（東京電機大学）から「Human Adaptive Mechatronics - Interaction and Intelligence」と題して、人間モデルを考慮した新しいメカトロニクス研究についての講演があった。二日目の基調講演では、Nourbakhsh教授（CMU）から「On the Study of Human-Robot Collaboration」と題して学習支援としてのロボットの活用についての講演があった。三日目の基調講演では、大西公平教授（慶應義塾大学）から「New Challenges in Motion Control」と題して環境とのインタラクションを考慮した新しいモーションコントロールについての講演があった（写真1）。いずれも、環境や人間モデルを積極的に考慮した制御システム構

築という点で、この分野の今後の新しい方向性を示していると思われる。

次回のAMCは2年後にイタリアのトレントで開催される。

なお、会議最終日の3月29日にトルコ南部から北東部にかけて皆既日食があり、イスタンブールでも86.7%の部分日食となった。会場では遮光ガラスが配布され、昼休みに参加者が挙って日食を観測する場面が見られた。

藤本 康孝（横浜国立大学）
（平成18年5月1日受付）

表1 分野別内訳

Topic	Count
Motion Control Systems	21
High Accurate Positioning and Disk Drive Control	12
Mobile Robots	11
Motor Control	11
Biped Robots	10
Haptics and Motion Control in Medicine	9
Disturbance Observer	9
Micro/Nano Motion Systems	9
Traction Control	6
Robust Control	6
Soft Computing Techniques	6
Social Robotics: Talking through disciplinary boundaries	5
Flexible Systems	5
Visual Servo Systems	5
Sliding Mode Control	5
Rehabilitation and Welfare Application	4
Total	134

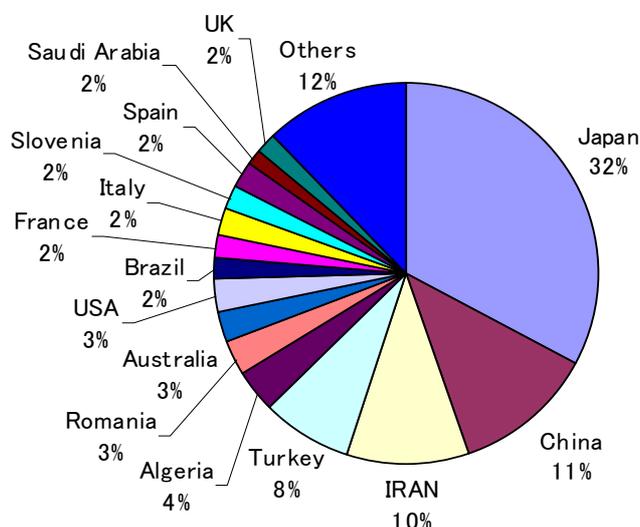


図1 投稿論文の国別内訳



写真1 基調講演の様子（慶應義塾大学大西先生）